

課題⑤コーディネーターの一定エリア内のネットワーク化・組織化

＜大分県別府市教育部社会教育課＞

～令和2年度からの「別府市教育魅力化事業（モデル事業）」の取組～

学校運営協議会制度と地域学校協働本部のこれまでの取組の概要

＜平成19年度＞文科省「学校支援を通じた地域に連帯形成のための特別調査研究」を受託して、別府市地域協育プロジェクト会議を設置し、南小学校・浜脇中学校の2校区をモデル校に指定して学校支援コーディネーターを配置した。

＜平成20・21・22年度＞文科省「学校支援地域本部事業」受託して、大平山小学校・南小学校・浜脇中学校の3校区で実施した。

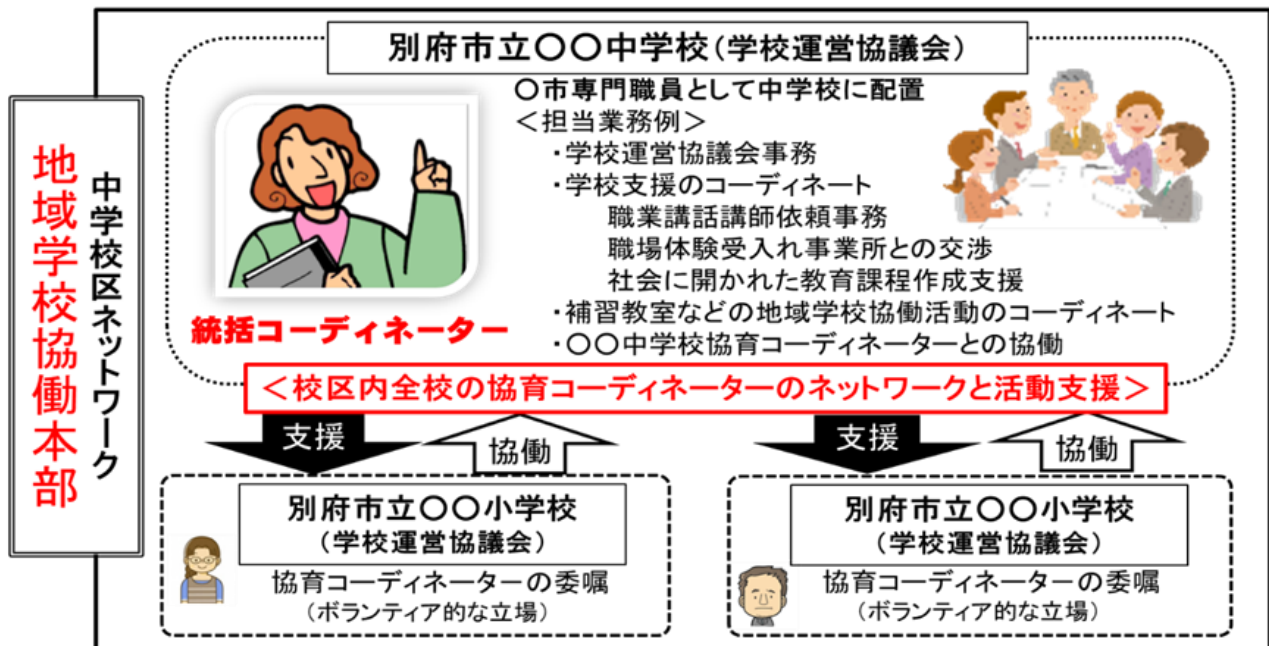
＜平成23年度～＞「地域教育力活性化事業」開始して、市内6公立公民館に、職員をコーディネーターとして配置し、放課後子ども教室及び学校支援活動を行う取組を始めた。

＜平成25・26年度＞文科省事業「コミュニティ・スクール導入に関する実践研究」を受託して、4小学校・3中学校の計7校にコミュニティ・スクール推進委員会を設置し、学校運営協議会制度の導入に向けた方向性を検討し、学力向上会議や学校評価委員会等の既存組織と学校運営協議会との一本化を図った。

＜平成27年度～平成28年度＞全ての市立小中学校に学校運営協議会制度を導入した。

コーディネーターの一定エリア内のネットワーク化・組織化の概要

別府市教育魅力化事業（モデル事業）



令和2年3月に別府市社会教育委員の会から「子どもと大人が共に学び合い地域をつくる地域学校協働活動の活性化にむけて」と題して、地域学校協働活動の調査研究報告を受けた。その柱は「学校・家庭・地域のそれぞれが子どものために！と想いながら取り組んでいる活動のベクトルを一つの方向に合わせ集中していくこと」と「コーディネーターの役割と配置」であり、この報告を有効に活用することとし、別府市が取り組んでいる「地域教育力活性化事業」を推進するため、令和2年度から教育魅力化事業のモデル事業として一中学校区に統括コーディネーターを配置し、また、中学校区の各小中学校に協育コーディネーターを配置した。今後も拡大して、地域と学校の課題解決を協働して取り組むこととしている。

コーディネーターの活動・職務

<統括コーディネーターの職務>

中学校に配置された統括コーディネーターは以下の職務を行う事としている。

- ①学校運営協議会委員に任命される。
- ②各小中学校に配置した協育コーディネーター（順次、拡大する予定）を統括し、協育コーディネーターの連絡調整を行う。
- ③地域と学校の協働活動の支援の拡大と広域的なネットワーク化の中核的な役割を行う。
- ④当該中学校のコーディネーターと協働して、日常的な学校と地域の協働活動のコーディネートを行う。
- ⑤地域学校協働本部の事務処理・経費処理を行う。

<コーディネーターの職務>

- ①学校や地域住民、企業団体等との関係性の構築、連絡調整などを行い、子どもを核としたコミュニティづくりへのネットワークの構築を行う。
- ②各校の学校運営協議会に参加し、地域住民同士や地域住民と教職員を繋ぐ地域学校協働活動の推進、スクールサポートスタッフ（教員補助）の活動を通して教員との関係性の構築を行う。
- ③地域や学校の実情に応じた学校の教育課題に対応した地域学校協働活動の企画・立案と、公民館事業との連携等による地域ボランティアや学校教育活動に必要な人材の募集・確保を行う。
- ④家庭教育学級等、保護者の学習機会づくりや家庭教育支援を行う。

<コーディネーターの活動支援と資質向上>

- ①協働支援員（コーディネーター）への地域学校協働活動推進員の委嘱を行う。
- ②月1回程度のコーディネーター同士の情報交換と研修活動を行う。

「別府市教育魅力化事業（モデル事業）」の成果と課題

<初年次（R2年度）の成果>

- 統括コーディネーターが校区内の様々な関係者となつたり、ネットワーク再構築の基礎を築けたことや、中学校においての新たな地域学校協働活動（新たな協働活動案が創発）が始動するなどによって地域学校協働活動推進に必要なことが明らかになった。

<初年次（R2年度）の課題>

- 学校運営協議会や地域学校協働本部の役割に関する教職員の理解を得ることや、学校運営協議会での熟議（夢と課題の共有）を促進する必要がある。
- 統括コーディネーターや地域学校協働活動推進員の役割の明確化と活用の拡大を進める必要がある。

<2年次（R3年度）の新たな取り組み事例>

※大分合同新聞（2020.10.20 朝刊）

- 統括コーディネーターが所属する中部中学校地域学校協働本部が中心となって、同校学校運営協議会長をリーダーとして「中部子ども応援プロジェクト」を立ち上げ、キャリア教育支援や、希望する3年生が対象の放課後学習教室、不登校傾向の生徒が過ごせる登校支援ルームの運営、校内環境の整備など、多忙な教員に代わって地域住民が応援する取組を始めた。

※コーディネーター研修会



※コーディネーターの情報交換

